



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 ジェイ エイ シー リクルートメント 上場取引所 東  
 コード番号 2124 URL https://corp.jac-recruitment.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田崎 ひろみ  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 CFO (氏名) 沖野 俊彦 (TEL) 03-5259-6926  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	17,249	16.3	4,163	6.4	4,165	6.1	3,020	10.6
2022年12月期第2四半期	14,825	24.0	3,911	18.6	3,925	19.0	2,731	24.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 3,155百万円( 8.5%) 2022年12月期第2四半期 2,907百万円( 28.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	75.49	—
2022年12月期第2四半期	67.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	20,244	14,260	70.4
2022年12月期	22,084	15,585	70.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 14,260百万円 2022年12月期 15,585百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,651	20.4	7,770	10.3	7,783	10.4	5,417	7.7	133.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	41,389,300株	2022年12月期	41,289,300株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,506,836株	2022年12月期	1,005,871株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	40,005,964株	2022年12月期2Q	40,370,360株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2023年8月24日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済においては、5月に新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「2類」から「5類」へ移行され企業活動の正常化が進み、6月の日銀短観調査における業況判断は、大企業製造業全体では7期ぶりの改善となりました。一方で、欧米を中心とする海外経済は依然として先行きの不透明感が残り、その影響が強い生産用機械などの分野の業況判断は悪化しました。

このような状況の中でも、国内では事業の再成長に力を入れる企業が人的資本経営を念頭に、その多様性確保を意識して採用に力を入れており、有効求人倍率は堅調な推移を維持しましたが、依然として米系IT・コンサルティング企業や一部の国内大手IT企業では昨秋以降の社員採用抑制が続いています。当社グループの中核事業である国内人材紹介事業もその影響を受け、当第2四半期連結累計期間において、当社グループ全体の売上高は、前年同期比で16.3%成長となり、引き続き二桁成長となるものの、期初計画値はわずかに下回りました。

2023年上半期の国内人材事業においては、重点施策として取り組んでいるAccount Management(重要顧客企業の組織的管理)により、大型複数成約(一社20件超)が前年同期比60%増と好調でした。また、強化領域であるエグゼクティブと地方領域においても前年同期比20%増の成約額でそれぞれが進捗しています。下半期については、これらの重点施策をさらに推進し、好調な領域で業績を牽引してまいります。一方で、引き続き米系IT・コンサルティング企業と一部の国内大手IT企業の採用ニーズの変化に注目しながら、注力求人案件と担当者配置の最適化、さらに組織マネージメントの強化を図ることで、事業全体の生産性を引き上げてまいります。また、前年から実施している当社グループのコンサルタントが到達するべき「JAC Standard」に基づいた教育の充実については、管理職の果たすべき役割を「Mission&Duty」としてまとめ、日本語と英語でグループ全体への展開を進めています。9月には本プログラムに基づいた管理職研修がスタートする予定で、これにより組織力を強化し、さらなる生産性の向上と離職率の低下を図ります。なお、コンサルタント要員の確保については期初計画に沿った推移で進んでおり、今後も増員は計画どおりに進めてまいります。

海外事業は、香港(香港特別行政区)が引き続き不調であるものの、欧州、インド、そして今年新設した米国ロサンゼルス拠点などが好調に業績を伸ばし、売上高はコロナ前の2019年の水準を回復しました。今後については人件費も含めたコスト構造の見直しを進め、高収益体質への転換に取り組んでまいります。

国内求人広告事業は、主要顧客である一部の外資系企業の採用抑制が長期化していることで、売上高、利益ともに前年同期比減となりました。今後については既存顧客企業への接点強化と並行して、日系企業を含めバイリンガル人材の採用に意欲的な企業に営業活動のターゲットを絞り、業績回復を目指します。

販管費については、2022年に実施した現状分析の結果を元に基幹情報システム、業務プロセスなどのBPRを進めると同時にコストの削減も進めており、期初計画内で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17,249百万円(前年同期比16.3%増)となりました。セグメント別売上高は、国内人材紹介事業が15,230百万円(同15.9%増)、国内求人広告事業が154百万円(同10.3%減)、海外事業が1,863百万円(同23.0%増)となっています。

利益面では、営業利益は4,163百万円(前年同期比6.4%増)、経常利益は4,165百万円(同6.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,020百万円(同10.6%増)となりました。セグメント別損益は、国内人材紹介事業が4,096百万円(同6.2%増)、国内求人広告事業が8百万円(同31.6%減)、海外事業が60百万円(同114.3%増)となっています。

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同期比(%)
国内人材紹介事業	15,230	115.9
国内求人広告事業	154	89.7
海外事業	1,863	123.0
合計	17,249	116.3

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

なお、事業別・業界部門別に示すと、以下のとおりであります。

事業・業界部門	売上高（百万円）	前年同期比（％）
1. 国内人材紹介事業		
電気・機械・化学業界	5,346	122.5
消費財・サービス業界	3,165	117.1
メディカル・医療業界	2,340	111.9
IT・通信業界	2,174	96.2
コンサルティング業界	1,373	145.3
金融業界	766	117.4
その他	63	52.6
国内人材紹介事業 計	15,230	115.9
2. 国内求人広告事業		
国内求人広告事業 計	154	89.7
3. 海外事業		
海外事業 計	1,863	123.0
合 計	17,249	116.3

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前払費用183百万円の増加等がありましたが、配当金の支払いや自己株式の取得等に伴う現金及び預金1,807百万円の減少、立替金の減少等に伴う流動資産「その他」の159百万円の減少等があり、前連結会計年度末に比べて1,839百万円減少の20,244百万円となりました。

負債につきましては、未払金161百万円の減少、未払費用131百万円の減少、未払消費税等130百万円の減少等があり、前連結会計年度末に比べて515百万円減少の5,983百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益3,020百万円を計上しましたが、一方で剰余金の配当3,278百万円や自己株式の増加1,201百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,324百万円減少の14,260百万円となり、自己資本比率は70.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想は、2023年5月15日開示の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,879	13,071
売掛金	2,244	2,254
貯蔵品	7	2
前払費用	413	596
その他	283	123
貸倒引当金	△7	△24
流動資産合計	17,820	16,024
固定資産		
有形固定資産		
建物	421	474
減価償却累計額	△220	△228
建物（純額）	201	245
機械及び装置	66	66
減価償却累計額	△35	△40
機械及び装置（純額）	30	25
車両運搬具	0	0
減価償却累計額	△0	△0
車両運搬具（純額）	—	—
工具、器具及び備品	383	415
減価償却累計額	△237	△260
工具、器具及び備品（純額）	145	155
リース資産	4	4
減価償却累計額	△2	△2
リース資産（純額）	2	1
建設仮勘定	0	1
その他	401	439
減価償却累計額	△36	△56
その他（純額）	364	383
有形固定資産合計	745	813
無形固定資産		
のれん	814	781
ソフトウェア	617	606
ソフトウェア仮勘定	100	131
無形固定資産合計	1,532	1,518
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	0	0
敷金及び保証金	969	935
破産更生債権等	13	10
長期前払費用	27	24
繰延税金資産	988	927
長期未収入金	2	0
貸倒引当金	△16	△11
投資その他の資産合計	1,985	1,887
固定資産合計	4,263	4,220
資産合計	22,084	20,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
リース債務	0	0
未払金	590	428
未払費用	2,995	2,863
未払法人税等	1,207	1,188
未払消費税等	659	529
預り金	242	237
前受収益	93	50
賞与引当金	—	23
株式給付引当金	170	108
返金負債	74	83
その他	128	193
流動負債合計	6,161	5,709
固定負債		
リース債務	1	1
繰延税金負債	—	5
その他	335	268
固定負債合計	337	274
負債合計	6,498	5,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	672	672
資本剰余金	1,514	1,514
利益剰余金	15,022	14,764
自己株式	△1,793	△2,994
株主資本合計	15,415	13,956
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	169	304
その他の包括利益累計額合計	169	304
純資産合計	15,585	14,260
負債純資産合計	22,084	20,244

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	14,825	17,249
売上原価	1,146	1,340
売上総利益	13,679	15,909
販売費及び一般管理費		
役員報酬	362	361
給料及び手当	5,501	6,524
法定福利費	701	838
退職給付費用	180	228
賞与引当金繰入額	49	23
役員賞与引当金繰入額	13	—
株式給付引当金繰入額	88	106
貸倒引当金繰入額	0	14
地代家賃	565	641
減価償却費	215	257
のれん償却額	56	58
広告宣伝費	642	886
その他	1,389	1,804
販売費及び一般管理費合計	9,767	11,745
営業利益	3,911	4,163
営業外収益		
受取利息	1	4
リース解約益	—	16
その他	20	7
営業外収益合計	22	29
営業外費用		
支払利息	8	11
賃貸借契約解約損	—	13
その他	0	1
営業外費用合計	9	26
経常利益	3,925	4,165
特別損失		
固定資産除却損	1	1
減損損失	26	—
特別損失合計	28	1
税金等調整前四半期純利益	3,897	4,164
法人税、住民税及び事業税	1,178	1,075
法人税等調整額	△12	68
法人税等合計	1,166	1,144
四半期純利益	2,731	3,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,731	3,020



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,731	3,020
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	176	135
その他の包括利益合計	176	135
四半期包括利益	2,907	3,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,907	3,155
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2023年2月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が1,368百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,994百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
一時点で移転される財	12,906	94	1,076	14,077	—	14,077
一定の期間にわたり移転される財	231	77	438	748	—	748
顧客との契約から生じる収益	13,138	172	1,514	14,825	—	14,825
外部顧客への売上高	13,138	172	1,514	14,825	—	14,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	9	10	30	△ 30	—
計	13,149	181	1,525	14,856	△ 30	14,825
セグメント利益	3,857	12	28	3,897	—	3,897

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内人材紹介事業の報告セグメントにはのれん償却額37百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額19百万円が、含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、海外事業の報告セグメントで26百万円の減損損失を計上しております

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			報告セグメント計	調整額	合計
	国内人材紹介事業	国内求人広告事業	海外事業			
売上高						
一時点で移転される財	14,933	100	1,343	16,377	—	16,377
一定の期間にわたり移転される財	297	54	520	872	—	872
顧客との契約から生じる収益	15,230	154	1,863	17,249	—	17,249
外部顧客への売上高	15,230	154	1,863	17,249	—	17,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	10	7	23	△23	—
計	15,235	165	1,871	17,272	△23	17,249
セグメント利益	4,096	8	60	4,164	—	4,164

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と一致しております。

2. 国内人材紹介事業の報告セグメントにはのれん償却額37百万円が、海外事業の報告セグメントにはのれん償却額21百万円が、含まれております。